

# 第18回 プロネクサス 懸賞論文募集

応募締切:2026年10月20日(火)

## 資本市場の発展に あなたの提案を

日本の企業ディスクロージャー・IRを  
より効果的で効率的なものにする研究活動を支援します。

株式会社プロネクサスは、  
企業のディスクロージャー・IRにおける実務サポートを  
提供する専門企業であることから、  
CSR活動の一環として2009年より  
「プロネクサス懸賞論文」を開始しました。  
本年も引き続き、「第18回プロネクサス懸賞論文」を募集いたします。  
学生、若手研究者、社会人等の方々から、  
研究レポートやご提案をいただき、  
資本市場の健全な発展に寄与していきたいと  
考えております。

詳しくは、専用ホームページをご覧ください。  
<https://www.pronexus.co.jp/home/souken/info/index.html>

お問合せ・応募はこちらまで  
(株)プロネクサス  
ディスクロージャー企画業務推進部 調査研究チーム  
懸賞論文係 小林・原口  
〒105-0022  
東京都港区海岸1-2-20汐留ビルディング5F  
E-mail: souken@pronexus.co.jp

### 募集要項(概要)

#### ■テーマ

『上場会社のディスクロージャー・IRをより効果的、効率的なものにするための研究および提案』

(備考)1.実証結果を出すための実証分析に関する論文は不可としますが、提案を補強するための実態調査、ケース分析等を論文の一部に含めることは可とします。  
2.IRの具体的な表示方法等の工夫を提案することは可とします。

#### ■応募資格

##### 【部門Ⅰ】

個人による研究または2名による共同研究

(応募資格)

40歳以下(2026年10月20日現在)で日本在住の大学生、大学院生、研究者、一般社会人等(共同研究の場合は、2名とも)

##### 【部門Ⅱ】

大学生グループによる共同研究

(応募資格)

同一大学に在籍する大学生(2026年10月20日現在)による3名以上10名以下(代表者1名を含め10名以下)のグループ(例えば、XX大学XXゼミナール、XX大学XX研究会等)

なお、論文・要旨・応募メールには、応募部門(部門Ⅰまたは部門Ⅱ)および執筆者名・共同研究者名を明記すること。

#### ■応募締切

2026年10月20日(火)[当日消印有効]

受賞者名は、2027年1月頃に弊社ホームページにて発表。

#### ■賞金

最優秀賞 50万円

優秀賞 30万円 佳作 10万円

(部門Ⅰ及び部門Ⅱともに上記金額)

#### ■審査方法

下記の審査委員で構成する審査委員会にて審査を行います。

委員長	黒川 行治	慶應義塾大学 名誉教授
委員	新井 武広	前 会計教育研修機構 代表理事専務
委員	川村 義則	早稲田大学商学学術院 教授
委員	小宮山 賢	前 早稲田大学大学院経営管理研究科 教授
委員	佐藤 明	株式会社バリュークリエイト パートナー
委員	多賀谷 充	青山学院大学 名誉教授
委員	上野 守生	株式会社プロネクサス 名誉会長

(敬称略)

#### ■後援

株式会社日本取引所グループ  
株式会社東京証券取引所

### 第17回プロネクサス懸賞論文審査結果

#### 【部門Ⅰ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 該当なし

佳作 2本

■一橋大学大学院 経営管理研究科 経営分析プログラム1年  
宍戸 健人  
「株式非公開化における特別委員会答申の分析 一買収主体、委員の専門性、買付PBRに焦点を当てて」

■東京経済大学 経営学部  
荒井 陽太(3年)、猪崎 航史(2年)  
「業績運動配当における政策運用実態の分析」

#### 【部門Ⅱ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 1本

■一橋大学 商学部 円谷昭一ゼミナール3年  
吉村 拓真、甘 伊娜、平島 駿太、眞弓 珠妃  
「「資本コストや株価を意識した経営」の開示実態とその改善案—PBRの分析に焦点を当てつつ—」

佳作 2本

■獨協大学 経済学部 松本守ゼミナール4年  
加藤 ももこ、北原 さくら、久保 史織、黒岩 央、寺田 佳乃、中村 海龍、森 天音、松井 真  
「統合報告書から得られる経営者の視覚的情報にはどのような意味があるのか?—経営者のナルシズムと経営者業績予想の関係からの改善提言—」

■東洋大学 経営学部 調勇二ゼミナール3年  
真木 菜那美、猪木 実里、齋藤 巧  
「日英米比較と投資家インタビューから探る日本企業の対話型IR改革」